「機能する防災組織に向けて　―地域を知り・活かし、地域に根ざす」

（組織の見直し―災害２４時間、有事対応組織づくり）

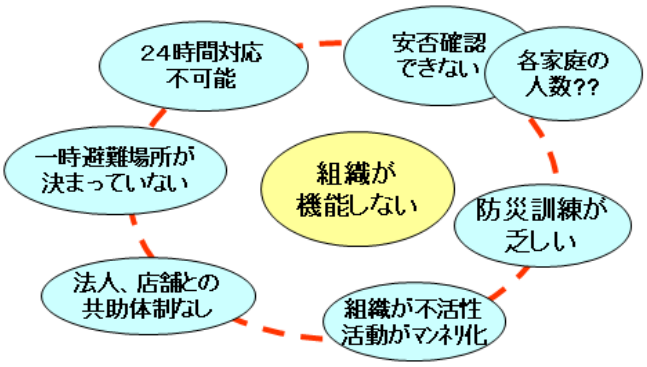
西方防災会

＜経緯＞

西方防災会は、西方１丁目と２丁目の２自治会で構成され、両自治会長の輪番制により防災会長が決定されています。防災リーダーとして、地域の実情を知るにつれ、「各家庭の人数は分からず、安否確認ができない」「一時避難所が決まっていない」「防災会の形骸化」など様々な問題点に気付き、「今、大震災が発生したら組織は機能しない恐れがある」と大きな不安を抱き、組織の見直しと防災力の向上の２つの改革の柱を立てて、自主防災組織の活性化対策を順次進めています。

現状の課題

今、大震災が発生したら、西方防災会の組織が機能しない可能性大！



＜活動内容＞

・組織の見直し

（災害２４時間、有事対応組織づくり）日中在宅の自治会役員経験者を防災リーダーに選任、救出・避難誘導・巡回・応急の役割分担をしたグループを班毎に編成

・防災基盤情報の収集

自治会員宅の家族人数、日中在宅人数（安否確認のための基礎データ登録）

災害時の要援護者登録、防災関連の職業登録

・防災意識の啓蒙活動

防災ＭＡＰの作成、消火器の設置、火災検知器、非常用袋有無、家族との待ち合わせ場所の有無、収容避難場所の認知度、町内清掃時の防災訓練等。

・高齢者の対応

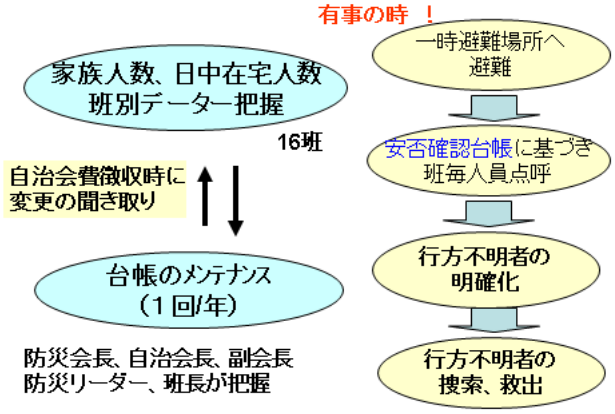
家具の転倒防止対策（ボランティア）

・災害時要援護者避難支援制度の登録促進

各班（１６班）の一時避難場所の明確化

・区域内の法人・店舗との防災協定による相互支援体制づくり

安否確認の仕組み作り



西方防災会MAPの一例